

平成 27 年度 第 2 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 27 年 12 月 24 日 (木) 午前 11 時から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

(構成員) 山 本 賢 一 町長

戸草内 勝 夫 教育委員長

上 山 誠 教育委員

関 向 玲 子 教育委員

兼 田 寿 教育委員

菅 波 俊 美 教育長

(事務局) 佐々木 久 教育委員会事務局次長

八ツ役 真 司 教育委員会事務局指導主事

4 協議事項

(1) 軽米中学校で対応中の生徒指導事案について

(2) 教育委員会の事務執行等の点検・評価の結果について

(3) その他

5 協議内容・・・進行：佐々木次長

○山本町長あいさつ

今年度第 2 回目の総合教育会議となる。よろしくお願ひしたい。

県立軽米高等学校は、今回の改革案では現状維持の方向である。しかし、近年の少子化の傾向から数年後にはかなり厳しい状況になることが予想される。

軽米高校の生徒を増やしていく方策の検討と、町内の子どもたちを軽米高校に向けて行くことが大切であると思っている。いろいろな流れを作りながら軽米高校存続に向けて頑張っていきたい。

また、軽米中学校で発生した生徒指導事案について、報告を聞き、協議をお願いする。

○協 議

(1) 軽米中学校で対応中の生徒指導事案について

{事務局から生徒指導事案の経過説明}

〈山本町長〉 事案発生後の事実確認は行われたのか。

→事務局 本人の話によって想定される生徒等から聞き取り、アンケート等実施したが、事案に関わったと思われる生徒はいなかった。

引き続き全校生徒を対象とした聞き取り等を行っていくことで学校と連携して進めている状況である。

〈山本町長了承〉

〈戸草内委員長〉関わった生徒について、心のケアが大事で、学校全体で情報を共有し、先生方が連携した取り組みをしていかなければならないと考える。

→事務局 心のケアについては、スクールカウンセラーが定期的に学校に来て見守っており、今回の件についてより緊急的、重点的に対応をお願いしている。学校以外の第三者なので、客観的な立場でも相談に乗っていただきながら、ケアを進めていけると思っている。

〈戸草内委員長了承〉

〈兼田委員〉 冬休み中、部活動等で学校に来ると思われるが、一人での行動をなるべくさけて、互いに気を付けましょうと声かけをすとか、職員がパトロールするなど目に見える形で生徒に示すことで、学校も先生も皆で安心安全に向かえると思われる。

→事務局 冬休みの学校体制については、ご指摘のとおり学校と連絡を取りながら万全を期してまいりたい。

〈菅波教育長〉 全校朝会、終業式などで、校長先生から学校全体で安心安全な学校づくりについて、話していただくようお願いしている。冬休み中も目に見える巡回などが必要だと言える。

〈兼田委員了承〉

〈戸草内委員長〉被害を受けた生徒の保護者の方に事実をしっかりと伝えて、学校の取り組みを見せる姿勢が大事だと言える。

→事務局 重ねて学校に確認をしながら、丁寧に対応していただくことを伝えたいと思う。

〈戸草内委員長了承〉

〈佐々木次長〉 保護者説明会に出席したが、被害にあわれた親子さんに寄り添った意見が多かった。

〈上山委員〉 ネットが発達した社会なので、メール、ラインなどで、いろんな情報が氾濫することが心配である。いろんなことを想定しながら丁寧な対応が必要と思う。

〈関向委員〉 発生した事案に誠実に対応することはもちろんだが、上山委員の意見のとおり現代のメディアの発達による情報の氾濫には対

応しきれない面が大きい。スマホ等を使う子どもたちの間で憶測等がどんどん広がることへの対応が大事であると思う。

→事務局 学校ともう一度連絡を取って、憶測等広げないよう指導をお願いする。

〈菅波教育長〉 学校との協議のなかでも懸案として話されていた。再度連絡して指導をお願いしたい。

〈上山、関向委員了承〉

〈山本町長〉 生徒に不安を与えないようにケアをきちんと行って下さい。

(2) 教育委員会の事務執行等の点検・評価の結果について

{事務局から点検評価報告書について説明}

〈事務局〉 ・社会教育の分野で意見等伺いたい。

〈山本町長〉 少子化の影響もあり学校統合が進んで、なかなか郷土芸能の担い手確保が難しいと聞いている。対応は、どのように考えているのか。

→事務局 小軽米小学校が神楽を学習発表会等で取り組んでいる。晴山小学校は、太鼓を学校で教育課程の中で取り組んでいた。

統合した軽米中学校では、統合前に行われていた郷土芸能についてこれまで取り組んでいなかったが、今年は、文化祭の中で笹渡の太鼓や山内神楽を行っていた。

今後も、順番に発表を行っていければ、練習も行われる。

〈山本町長〉 経済的な支援であれば何とかかなると思うが、少子化で継続者がいないという根本的な問題を検討しなければならない。

例えばその地域だけではなく他地域の子どもの参加もあれば集まるだろう。具体的な状況を把握して、今後のための議論が必要と思う。

〈菅波教育長〉 保存会の考え方もあるが、地域を広げる事については、抵抗感を感じる。少子化を考えれば範囲を広げてでも継続していくことが必要だと思う。

〈関向委員〉 子どもたちが少ないこともあるが、指導者の高齢化が進んでいるという話も聞いた事がある。中堅の指導者養成も必要である。

〈山本町長〉 郷土芸能は、身振り手振りの実技で教えるため、指導者の高齢化も難しい問題である。

- 〈事務局〉 学校教育関係でご意見を伺いたい。
- 〈山本町長〉 幼稚園の担任が不足しているということだが、正職員を増やさないと足りないということか。
- 事務局 今現在2名足りない状況なので4月に向けてお願いしたい。
- 〈山本町長〉 子育て支援に力を入れていることから、幼児教育についても体制整備をする必要がある。
- 〈戸草内委員長〉 子どもたちの学力向上に関わっては、軽米町は、学力向上支援員、特別支援員の配置や外部講師による学習会の開催など手厚く事業を実施していただきありがたく思っている。継続して支援をお願いしたい。
- 〈山本町長〉 学力の向上については、私も力を入れていきたいが、なかなか成果が見えてこない。学力調査の結果などに表れてくるような効果的な方法について今後現場の先生方からも意見を伺いたい。
- 〈兼田委員〉 小軽米小のステージ発表を見たが、先生方の熱意は感じた。
- しかし、指導方針は、子どもたちの自由な発想を活かすと言っているが、教師の敷いたルール上で動いているような気がする。子どもたちに任せるところは任せるようにすれば良い結果が出るように思う。子どもを伸ばす指導方法の研究がほしい。
- 〈戸草内委員長〉 家庭学習の取り組み方、ゲーム、スマホの時間が長いことが、統計上軽米の課題になっている。昨年度からノーメディア週間等の取り組みを行っているが、まだ実績が浅いので、今後も引き続き取り組んで、子どもたち自身が家庭での過ごし方を考えることが必要と思う。
- 〈関向委員〉 規制が多すぎて、子どもたちの個性が伸びない要因となってもそれも困る。
- 〈山本町長〉 全体的に学力調査の結果が低い状況だったので気になっていた。今後の取り組みに期待したい。

(3) その他

来年度第1回目の総合教育会議を5月頃に開催したい旨を事務局が説明し、出席者の同意を得た。

○閉 会